

地域教育文化学科文化創生コース(美術科教育分野)教員の公募について

採用予定年月日	令和5年4月1日
配置コース	文化創生コース
専門分野	美術科教育
職名・人員	准教授又は講師・1名
必要書類	<p>(1) 履歴書：1通（様式指定）</p> <p>(2) 教育研究業績書：1通（様式指定，主要なもの3編に○印を付すこと）</p> <p>(3) 審査対象業績：主要なもの3編を含め，研究業績一覧表に記載されている著書・論文（別刷り又はコピーでも可）</p> <p>(4) 管理運営業績・社会貢献業績・外部資金一覧表：1通（様式指定）</p> <p>(5) 主要業績3編に関する要旨：1編につき500字程度でまとめたもの（A4用紙）</p> <p>(6) これまでの研究の概要と今後の研究計画（2,000字以内）</p> <p>(7) これまでの教育実践・地域貢献の概要と着任後の教育・地域貢献に対する抱負（ICT教育やSTEAM教育の推進に関する抱負を含む）（2,000字以内）</p> <p>(8) 上記(1)～(7)（(3)を除く）の電子データ（Word, Excel形式）を書き込んだCD等（電子データについては自署・押印欄は空欄で構いません）</p> <p>※指定の様式については，研究者人材データベースまたは学部HPからダウンロードすること。</p>
応募資格	<p>(1) 博士の学位を有する者，又はこれと同等の能力があると認められる者。</p> <p>(2) 美術科教育に関する業績を有する者。</p> <p>(3) 美術（デザイン，工芸等を含む）のいずれかの領域における実技指導ができる者。</p>
担当予定科目	<p>【地域教育文化学部】 美術科教育法，美術の教材分析A，美術科実践演習<※分担> 図画工作の基礎<※分担>，初等教科教育法（図画工作），保育内容（表現B），生涯学習と造形，造形表現総合演習<※分担> 地域社会とファシリテーション<※分担>，等 特別課題演習Ⅰ・Ⅱ，卒業研究</p> <p>【大学院社会文化創造研究科】 美術教育学特論，美術教育学特別演習，造形芸術特別研究Ⅰ・Ⅱ，等</p> <p>【基盤共通教育（教養教育）】 基盤共通教育を担当する。</p> <p>※将来、学部改組等があった場合、授業科目名の変更又は追加となる場合がある。</p>
応募締切日	令和4年8月1日（月）必着
照会先	山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科 渡邊 信晃 E-mail nobuaki@e.yamagata-u.ac.jp
書類送付先	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4番12号 山形大学小白川キャンパス事務部総務課 気付 山形大学地域教育文化学部長 宛 （封筒に『地域教育文化学科（美術科教育）教員公募書類在中』と朱書し，簡易書留で郵送のこと） ・応募書類は原則返却しないが，応募書類の返却を希望する場合は，その旨を明記し，着払いの送り状を同封すること。

待遇	<p>任期は5年間とします。採用時からテニュアトラック期間（5年）満了時まで学内規程に基づくテニュア審査が行われ、可とされた場合にはテニュアが付与されます。</p> <p>※本学のテニュアトラック制度については、下記をご参照ください。 https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/</p> <p>[給与] 国立大学法人山形大学年俸制（Ⅱ）適用職員給与規程による年俸制。経歴等を考慮し、基本年俸を決定します。</p> <p>[保険] 文部科学省共済組合（健康保険・厚生年金）、雇用保険、労災保険</p> <p>[勤務時間] 8：30-17：00を基本とする裁量労働制</p> <p>[休日] 毎週土・日曜日・国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始</p>
希望する人材	<ul style="list-style-type: none"> ・美術科教育の立場からのICT教育、STEAM教育の推進に貢献できる方。 ・着任後に本学の地域連携やフィールドワークに関する研究および教育活動に積極的に取り組める方。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・採用後は、山形市又はその近郊に居住すること。 ・必要に応じて模擬授業と面接を行う。なお、その場合の交通費等は、応募者の負担となる。 ・この公募は、男女雇用機会均等法の第8条に定められた「女性労働者に係る措置に関する特例」を踏まえた教員募集である。業績（研究、教育、社会貢献等）及び人物の評価において優劣をつけがたいと認められた場合には女性を採用する。 ・山形大学は男女共同参画を積極的に推進している。 詳細は、URL http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/ を参照されたい。 ・教員の年齢別構成の改善を図るために特に若手教員活躍の場を全学的に拡大し、研究を活性化していく予定である。このことを踏まえ、今回の公募は若手教員（35歳未満）の応募を推奨（歓迎）する。 ・地域貢献活動において、積極的な役割を果たす熱意を有する者が望ましい。 ・研究分野について、英語で授業ができることが望ましい。